

一般会計112億円 繰越予算36億円

交流の場(道の駅)建設を進める

3月議会定例会は3月5日から19日まで15日間の会期で開かれました。

今定例会には、112億3000万円の一般会計当初予算や新年度に繰り越す36億1360万円を含む26年度補正予算、広報常任委員会を新設する議会委員会条例の改正など53議案が提出され、すべて原案どおり可決、決定されました。

一般質問では8人の議員が登壇し、15項目にわたって町政をただしました。

平成27年度一般会計当初予算

交流の場(道の駅)を

13億7660万円で整備

平成27年度の当初予算は112億円で、前年度に比べ18億円(13・8%)減となり、全員賛成で可決しました。

平成一つ目の目標「をつくる5つの目標」を柱に、交流の場(道の駅)の整備や除染対策の推進、国の地方創生を利用して国見型のまちづくり計画を策定する経費などが計上されました。

当初予算は「国見の未来

経費などが計上されました。

一大震災からの早急な復旧復興

- 除染対策事業 51億40万円
- 文化センターホールの改修 1億2500万円
- 風評被害払拭への農産物PR 1310万円
- 放射線対策健康管理 490万円
- 米やあんぼ柿など農産物の検査 468万円

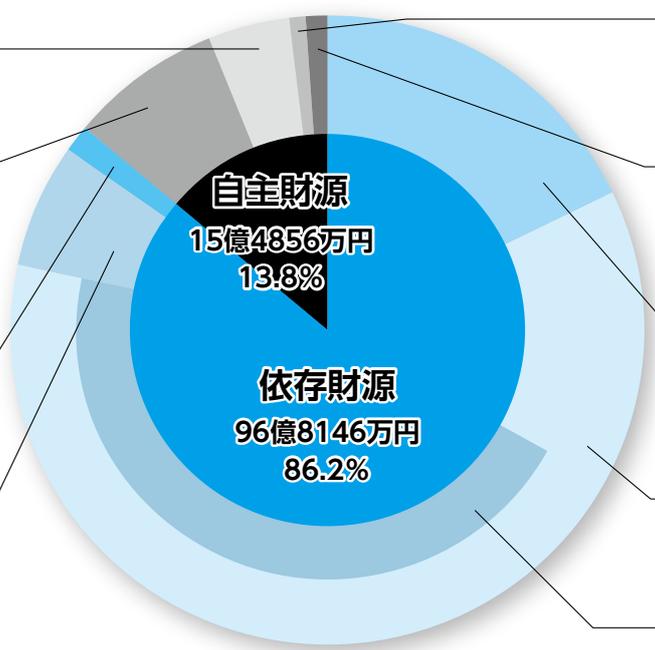
歳入 112億3000万円

繰入金・繰越金
4億6276万円 4.1%
貯金を下ろして使うもの、前年度残金の繰越金

町税
8億7810万円 7.8%
町民税、固定資産税、町たばこ税など

その他の依存財源
1億5667万円 1.4%
地方譲与税、地方消費税交付金など

町債(借金)
7億1880万円 6.4%
銀行などからの借入金



使用料・手数料
1億787万円 1.0%
町営住宅や保育所、幼稚園の使用料など

その他の自主財源
9983万円 0.9%
町税の延滞金や給食費など

地方交付税
20億2737万円 18.0%
町の収入でまかないきれない分を国が集め、再配分するもの

国県支出金
67億7862万円 60.4%
国や県からの補助金

(うち除染対策分)
50億9808万円 45.3%



3月
定例会

平成27年度

復興に向けて

安全安心なまちづくり

- 防災訓練の実施 70万円
- 防災マップ作成 50万円
- 自主防災組織の補助 25万円

活力あるまちづくり

- 交流の場（道の駅）整備 13億7660万円
- 義経まつりなどまちづくり推進事業 1億120万円
- ふるさと産業祭など交流推進事業 590万円
- 地域産業6次化事業 1億34万円

思いやりのあるまちづくり

- 預かり保育など子育て支援 3億755万円
- ももたん広場の運営 1億331万円
- いきいきサロン、敬老会など高齢者支援 1億197万円

- 幼小中の一貫教育事業 60万円

町の継続的な維持発展

- 地方創生に向けた総合戦略などの策定（繰越予算） 5億500万円
- 町合併60周年記念事業 4億71万円
- 東京くにみ会交流事業 2億15万円
- 歴史を生かしたまちづくり事業 1億92万円

歳出 112億3000万円

